

2016年10月
1109号

万葉

Manyo

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5
(一冊の会研究室)

一冊の会の活動はすべてつながっている ～10月櫻華塾～

シンガポールで開催された第22回アジア太平洋国際女性連盟（FAWA）から無事に全員が帰国して2週間が経った10月16日、尾崎記念財団の応接室にて石田理事長をはじめ留守を守った会員と大槻会長以下FAWAに行った会員とが元気に顔を合わせることができ、お互いの健闘を称えました。

まずは、FAWAの報告が三坂一冊の会FAWA事務局長よりなされました。写真を投影しての説明で大変臨場感に溢れ、行っていない者も行った気になるような説明でした。

FAWA会長のサラ・メイ・ウー氏は挨拶で「参加した一人一人が貴賓」とおっしゃっており、お互いがより良く近づけるような努力が運営側に感じられ、たいへん和気あいあいとしており楽しめました。まるで「NPOのオリンピック」のようでした。

そう三坂さんがおっしゃっており、本当にそうであったなあと思うと同時に、英語が分かっていなかった私は、三坂さんの説明で「そういう事を言っていたのか！」と感心しきり。英語が理解できるようになりたいと率直に思いました。

それからFAWAに参加し本日出席した、赤田、北川、横山、田村、宇野、山内、村岡、瀧川、新井（発表順）が内容と感想を報告いたしました。

また、本日の櫻華塾は欠席でいらっしゃいましたが、FAWAにオブザーバー参加されたIEO国際交流団体の代表、佐藤さんより後日感想とメッセージをいただきましたのでここで報告します。

【IEO国際交流団体 佐藤会長からメッセージ】

この度、シンガポールで開催されました、FAWAにお誘い下さいまして誠にありがとうございました。大槻会長様はじめ、小山副会長様、三坂様、皆様の暖かいご配慮に包まれてゆっくりと楽しむことができました。

国際会議開会式では、格調高くお着物で堂々と行進されました大槻会長様が印象的でした。暖かく、にこやかで、素敵な、一冊の会の皆様とご一緒させていただいて心から楽しむことが出来ました。久しぶりに浴衣も来て、最後は浴衣で踊るなど、思い出は尽きませんが、本当に伝統ある意義深い学びの会にお誘いただきましたこと、大変光栄に存じました。さまざまな刺激をいただいて、私ども会員も感銘を受け、喜んでおります。NPO法人IEO国際交流団体を代表しまして心より感謝申し上げます。



サラ・メイ・ウーFAWA会長に贈り物をお渡しするIEO佐藤会長

そして、大槻会長から大発表がありました。FAWA 総会の次回は 2 年後フィリピンで行われますが、その次の 2020 年は日本での開催を予定しております。相馬雪香先生がフィリピン上院議員ペクソン女史と出会った事がきっかけとなり始まった FAWA、60 周年はフィリピンで、その次は日本での開催となります。創立の精神を受け継ぎ大成功させることを皆決意しました。また女性問題は女性だけでは解決できないことを、男性の参加も半分、少なくとも 3 分の 1 は得て示し、日本がお手本となるために、4 年後はまだ先だと思わず今から国連の流れに沿って活動をしていくことも、皆決意いたしました。

引き続き大槻会長より、兼ねてより周知しておりました、レソト王国国王陛下歓迎の晩餐会について、国賓を迎えるということの意味、今までも一冊の会では大統領・首相・大使等を歓迎して参りましたが全く格が違うこと、天皇陛下と同じようにレソト王国国王陛下はレソト王国の象徴であられるというお話があり、改めて気が引き締まりました。

一冊の会親善大使として今回阿波踊りを披露いただく高田さんからの「頑張ります」という言葉に込められた万感の思いに、皆応援の拍手。各界の一流を集めるため奔走する大槻会長と小山副会長には、最敬礼の想いで拍手をいたしました。

さて、心の絆大作戦ハンカチプロジェクトを進めてまいりましたが、11 月 5 日の世界津波デーを目前にし、瀧川さんよりお知らせがありました。現時点で集まっている黄色の応援ハンカチが 137 枚、FAWA で書いてもらった緑の海外からの応援ハンカチが 71 枚、ピンクのお礼のハンカチが約 60 枚。今週末で一旦受付を締め切りとし、それまでに集まった分を何枚かずつ写真に撮り、メッセージとお名前をエクセルの表にまとめたものをつけて国連に提出します。また、10 枚以上黄色いハンカチを集めた方は中心者として青いハンカチを書いていただきます。パン事務総長が世界津波デーを定めて下さったことに対し、日本の民間からの贈り物をしましょう。

最後に、石田理事長が浮足立つ私たちが襟を正し、状況を俯瞰してこれからの道を歩いて行けるお話しをしてくださいました。

FAWA 創設のきっかけは相馬雪香ですが、実際に FAWA 総会では相馬雪香の名前はほとんどでてこない。我々はその精神を受け継いでいくことが大切であり、相馬雪香の名前を声高に叫ぶ必要はない。今、FAWA を支えている人達が主役であり、我々は相馬雪香の思いを知り実践できればよい。

レソト王国は SDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標) において重要な対象国のひとつとなっています。FAWA でも SDGs について話されると報告がありました。FAWA と来月のレソト王国歓迎晩餐会は決して関係ないものではない。一冊の会の活動は、すべてつながっています。相馬雪香の元にはたくさんの女性支援団体の方が訪れましたが、いつも「あなたにできる平和から頑張りなさい」と言っていました。来月の晩餐会、そして 4 年後の FAWA、ともに成功させましょう。



文責：赤田